

なにわの宮

大阪関西万博（EXPO2025）にて 当法人の取り組みについて紹介させていただきました

去る2025年10月5日（日）午後1時より、大阪関西万博会場フューチャーライフビレッジにある「TEAM EXPO pavilion」にてCFK（中央区フィランソロピー懇談会）の構成団体のひとつとして、当法人（社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会）の「なにわの宮」が参加させていただきました。

CFKは、大阪市中央区内を中心とした企業・NPO団体・学校・法人・個人が集まり、地域に密着した社会貢献活動を行っている団体です。

冒頭でCFKが参画している“TUNAGARITUMUGU 笑造・創造・共創チーム”的紹介を行い、その活動紹介のトップバッターとして、CFK代表 前田氏となにわの宮所長 野原によるディスカッション形式による発表を、万博に来場されている大多数のお客様の前で行いました。

当法人の沿革（創立70年）や活動内容などの紹介を皮切りに、「CFKが現在抱えている課題やそれに対応する具体的実行項目」「福祉業界が抱える人材不足に関する課題」「南海トラフ大地震の発生が予想されている中での“障がいのある方の被災時の避難場所や過ごし方、支援体制や地域との連携”」などについて意見交換を深めました。

- 知ること：地域のニーズを拾い上げる（聴く）こと
 - 知ってもらうこと：地域に居る障がい者をもっと身近に感じていただき、一緒に活動できること
 - 繋がっておくこと：普段から関わっていくことで、一緒に地域を構成する隣人としてつながること
- シンプルではありますが、それでいて難しく、一番大切なことだと感じました。

当日は、CFKメンバーによる英語の同時通訳、手話通訳を取り入れることで、より多くのお客様に対してメッセージを届けることが出来たと確信しています。

今回のような貴重な機会をいただき大変感謝しております。ありがとうございました。

なにわの宮は、“TUNAGARITUMUGUチーム”としてこれからも「笑って」、「つながって」、「共に創って」いきますので皆様のご協力とご支援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

